

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 許すな、介護保険制度改悪</p> <p style="text-align: right;">(35分)</p> <p>市は今年の3月高齢化率21%を超え超高齢化社会に突入したと発表しました。増加する夫婦や1人暮らし高齢者世帯の日常生活をしっかりと支える制度が介護保険制度であると、市民は信頼してきました。</p> <p>ところが厚生労働省は、2015年からの実施を目指し、来年の通常国会に介護保険法案を提出しようとして、今年11月27日までに取りまとめを行うと発表しました。</p> <p>今回の見直しで厚生労働省は、「要支援者」150万人もの”保険外し”をし、介護保険の対象外にしようとしています。又特別養護老人ホームの入所は「要介護3」以上に限る。利用料は所得によって2倍に引き上げる。低所得者でも貯金や不動産があれば施設の居住費や食費を補助しない等の大改悪を実施する内容であります。</p> <p>市民の暮らしは、2014年4月消費税が8%に増額すると安倍首相は明言しており、年金は今年度から徐々に2.5%引き下げられる等大変です。年金だけでは暮らせない人が増加し「行政不服審査請求」が各地で起きています。</p> <p>あまりにも酷い介護保険の改悪に反対の世論に押され、11月14日には厚生労働省は方針の一部撤回をする考えを示しました。しかし訪問介護、通所介護などあくまで市町村</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>の事業に移管するとしています。</p> <p>(1) 要支援者への介護給付の廃止で市町村まかせになった場合の市の対応について</p> <p>(2) 特別養護老人ホームの入所制限をすることになった場合の市の対応について</p> <p>(3) デイサービスの再編、縮小化の動きと対応について</p> <p>(4) 一定の所得では2割負担となる、負担強化の状況について</p> <p>(5) 低所得者への負担増の状況について</p> <p>(6) 介護保険制度から市町村独自事業への改悪は問題である。やめるよう国に要求することについて</p>	
<p>2 仕事多すぎ、教職員の過半数が過労死ライン</p> <p style="text-align: right;">(25分)</p> <p>多くの教職員が仕事に生き甲斐を感じてはいるけど、やるべき仕事が多すぎて働いても働いても子どもたちと向き合う時間が取れない、そんな学校現場の実態が明らかになりました。</p> <p>全日本教職員組合が「勤務実態調査2012」のまとめを公表しました。(2013年10月17日) 回答した6,879人の内、85.5%を占める教務員の長時間労働は深刻です。家に持ち帰る仕事を含めると、95時間32分の残業で</p>	<p>教育委員会 委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>す。健康障害のリスクが高まるとされる時間外労働の「過労死ライン」は月平均80時間ですから、3人に1人は長時間労働が日常的になっています。又、男性と比較して女性、特に子どもを持つ女性は睡眠時間平均5時間半との調査結果です。睡眠時間を削り夜中も働くことは、体に大きな負担となります。</p> <p>未来を担う子どもたちに心豊かな教育を実施する為にも、心と体のゆとりを待てる学校の仕事量にすべきと思います。</p> <p>(1) 市の教職員の残業等の勤務実態は</p> <p>(2) 減らして欲しい仕事はアンケートによると、資料や統計の作成、報告書の提出、会議打ち合わせ、授業持ち時間、研修や研究等です。</p> <p>不必要と思われるものを減らすことについて</p> <p>(3) 少人数学級の推進と教職員定数の抜本的改善の実施を文部科学省に要求すること</p> <p>(4) 全国学力テストは競争と教職員の多忙化を更に進める。</p> <p>参加すべきではないと思うが</p>	